



行こうよ!挨拶運動

生活委員会は、月・水・金曜日に7時45分から8時まで、正門と緑門に分かれて挨拶運動をしてくれています。この挨拶の輪を、学校全体に広げようと、学級ごとに挨拶運動を行う、「挨拶で学校を元気に～行こうよ!挨拶運動～」を計画・実践しています。この運動は6月13日の6年1組から始まり、7月50分から8時の10分間、正門にて行われています。この挨拶運動の狙いは、1学級ごとに挨拶運動に参加してもらい、挨拶する側・される側の気持ちを考え、挨拶の飛び交う学校にしたいということです。実際に挨拶運動に参加した子供の感想は、「初めて挨拶運動に参加して、大きな声で挨拶して、気持ちのよい挨拶が返ってきて嬉しかった。」と多くの子供たちがやりがいを感じています。この挨拶運動は、7月5日の1年2組まで行われます。子供たちが企画したことを実行し、達成感を味わうことで、学校は「わくわく」に溢れます。そうすると、子供たち一人一人の自信につながり、もっとがんばってみようと思欲をもって活動するようになります。それが全校生にとってプラスになりいい影響を生み出すのです。



子供たちには、この挨拶運動に自主的に参加してもらい、帯西グリーンの心を発揮してもらいたいと思います。

日本の島が増えた

日本は、島国だということをご存じの通りですが、本州は世界で7番目に大きな島だそうです。ちなみに世界最大の島は、グリーンランドで、ニューギニア島、ボルネオ島と続きます。この日本の島を数え直したという報道(2023年2月頃)を覚えていますか?国土地理院が日本全国の島々を35年ぶりに数え直した結果、1万4125だったそうです。これまでは、海上保安庁が1987年に公表していた6852とされていたので、一気に2倍以上になりました。この増えた理由ですが、技術の向上が挙げられます。これまでは「海図」という地図を担当者が見て島を数えていましたが、最近は航空写真をコンピューターに入れて精密な地図を描いているそうです。こうして作った地図を数え直した結果、島が増えたそうです。この島とは何でしょう?国連海洋法条約によれば「自然に作られたもので、水に囲まれていて、満潮時でも水面の上にある陸地」と定義しています。また日本の独自の島の見解「周囲が100m以上の陸地があること」を条件として付け加え、1万4125もの島が生まれたそうです。



技術の発展は、既存の知識を超えて、新たな発見を生み出していきます。